

2019年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社ニューフレアテクノロジー
 代 表 者 名 代表取締役社長 杉本 茂樹
 (コード番号：6256)
 問 合 せ 先 取締役総務部長 河野 真人
 (TEL. 045-370-9127)

親 会 社 名 株式会社 東芝
 代 表 者 名 代表執行役会長 車谷 暢昭
 (コード番号：6502 東、名)
 問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長
 石山 一可
 (TEL. 03-3457-2100)

業績予想と実績値との差異及び棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ

2019年5月11日に公表しました業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値と実績値との差異について

2019年3月期連結業績予想数値と実績値との差異 (金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	50,000	11,400	12,100	9,000	750.01
実績値 (B)	57,822	11,887	12,195	8,367	697.34
増減額 (B-A)	7,822	487	95	△633	
増 減 率 (%)	15.6	4.3	0.8	△7.0	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	41,555	9,303	9,522	7,063	588.61

2. 差異の理由

シングルビームマスク描画装置の需要が期初の想定より増加したこと、また、納入時期が前倒しとなったことの影響により、売上高が前回予想を上回りました。同様の理由により、個別業績の売上高におきましても、前期実績と差異が生じました。

一方で、2019年3月期末におきまして、棚卸資産の評価の見直しを行いました。この結果、マルチビームマスク描画装置の生産段階での設計変更に伴う不要部品等を中心に約56億円の評価損を織り込みました。

営業利益、経常利益につきましては、前述の増収により、前回予想の水準を維持しておりますが、当期純利益につきましては、税金費用の増加等の影響で前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、配当予想につきましては、修正はありません。

3. 今後の見通し

シングルビームマスク描画装置の需要は堅調でありますので、引き続き需要取り込みに努めてまいります。一方、マルチビームマスク描画装置については、鋭意設計変更を進めており、2019年度前半の完了を目指します。

以上